たのしい！
なつやすみに　するために

みずのじこ



明日から夏休みです。校長先生は、皆さんに、どんなお話をするか、とても迷いました。そんなとき、テレビのニュースから、小学生の水の事故が、流れてきました。今日は、皆さんが水の事故にあわないように、命を守るお話をします。



夏は、ゲリラ豪雨や台風で大雨がふります。大雨になると、川の水が増えて、流れが速くなります。雨が止んでも、川の水の量はすぐには減りません。
流れも速いままです。　川岸がすべりやすく、引き込まれやすいので、ぜったいに近づかないようにしましょう。



大雨が降ると、下水道の中に急にたくさんの水が流れ込みます。そうすると、下水管の中の空気が押しつぶされた力で、マンホールのフタが開いてしまうのです。水浸しの道路には、マンホールが口を開けています。絶対に、歩かないようにしましょう。



川は、急に深くなる所があります。いきなり足の着き場が無くなって、おぼれます。



だから，どんなに楽しそうでも，子供だけで、川遊びは絶対にしてはいけません。



田んぼの近くのため池や用水路に落ちると、手をかけるところがないため、すべって上ることができません。足がとどかない深さだった場合、浮かび続けることができずに、おぼれてしまいます。とても危険な場所です。

さあ！たのしい　なつやすみ



海・川・プールなど遊びに行くときは，必ず大人と一緒に行きましょう。それでは，楽しい夏休みになりますように，校長先生は皆さんの安全と健康を祈っています。8月２７日，元気な皆さんに会える日を楽しみにしています。これでお話を終わります。